

UTO MARINA HOUSE

UTO, KUMAMOTO

JIA Award for the Best Young Architect of 1999 1998

宇土マリーナハウスは、熊本未来国体1999ヨット会場の管理施設であり、くまもとアートポリス参加事業として計画されたものである。全体計画からひとつながりの建築ではなく、街のような群造形をつくりだすこととなり、複合建築に「連続体メソッド」が応用できるかが試みられている。最初にあたえられた機能を整理して複数の系(ゾーン)をつくり、必要なヴォリュームを与えたゾーンモデルをつくる。それらを集合させた最小限モデルを作成し、その後ヴォリュームを切り離して必要な動線を確保していく作業を行った。空間にクレパスのような隙間を造っていく作業である。結果的に各ゾーンは、管理上も計画上也建築の形態上でも、独立した小さな建築となっていき、その各々を連続体メソッドによって、さらに水平垂直へと変形させている。機能をコンパクトに固めたものを引き離して隙間を作る作業は、その隙間に意味を生み出し、様々なところから通り抜けられる多様な動線が生まれている。「シンプル」と「複雑」が同時存在している建築である。

- 名称 : 宇土マリーナハウス / アーキテクチャー・オブ・ザ・イヤー 1999
受賞 : 日本建築家協会(JIA) 新人賞1999
所在地 : 熊本県宇土市
施主 : 宇土市
主要用途 : マリーナハウス
設計期間 : 1996.03~1997.01
施工期間 : 1997.06~1998.08
設計 : 吉松秀樹+アーキプロ
担当 : 吉松秀樹、小林賢司、前田道雄
構造設計 : 松本構造設計室
施工会社 : 西松建設九州支店
敷地面積 : 26,283.62 m²
建築面積 : 1,046.32 m²
延床面積 : 1,380.16 m²
構造 : 鉄筋コンクリート造+鉄骨造
階数 : 地上2階
掲載誌 : Kumamoto Artpolis : Architecture Through Communication / space 9905 / 新建築 9811 / KB 9811 / SD 9704

